

第1章 山形市の景観

1 山形市の景観

(1) 山形市の景観の特性

山形市の景観は、次のとおり3つの大きな景観に整理されます。

①特徴的な地形から生み出される自然景観

盆地に位置し、市街地からは周囲の山々が望まれ、周辺からは都市の姿や市街地を取り巻く田園景観が一望されます。また、馬見ヶ崎川や立谷川等の市内を流れる川は、扇状地の他、山地に深い谷を形成するなど、多様な地形がそれぞれ固有の景観を展開しています。

②城下町時代から近代の歴史を伝える景観

市街地の中心に城郭が位置し、城下町の道路骨格、地割、町家、蔵、社寺が歴史を伝える景観となっています。また、近代初頭に建てられた数々の施設が保存されており、都市のイメージに大きな影響を与えています。

③生活から生まれ受け継がれる文化的景観

民家の蔵や石垣などの建造物のつくり方は、地域を特徴づけています。また、正月行事の初市、初夏の植木市、秋の古式打毬に代表される脈々と受け継がれる神社のお祭りなど、伝統が生活に根付き、景観を象っています。その他、花見にわく霞城公園、芋煮会でふれる秋の河原など、山形市の今日の景観は、季節の暮らしや行動から生まれています。



(2) 山形市の景観を構成する要素

山形市の景観を構成する要素を「地形・自然環境」、「土地利用」、「まちづくり」、「歴史・文化」の4つの視点に着目し、それぞれの視点から整理を行いました。

1) 地形・自然環境

●山々に囲まれた盆地の景観

市街地からは周囲の山々が望まれ、周辺からは都市の姿が一望されます。市街地近くの千歳山や盃山は登る人も多く、市民から親しまれています。市街地から眺める月山、朝日連峰、雁戸山は印象的なランドマークとなっています。

●人々の身近にあり親しまれる山麓・高原

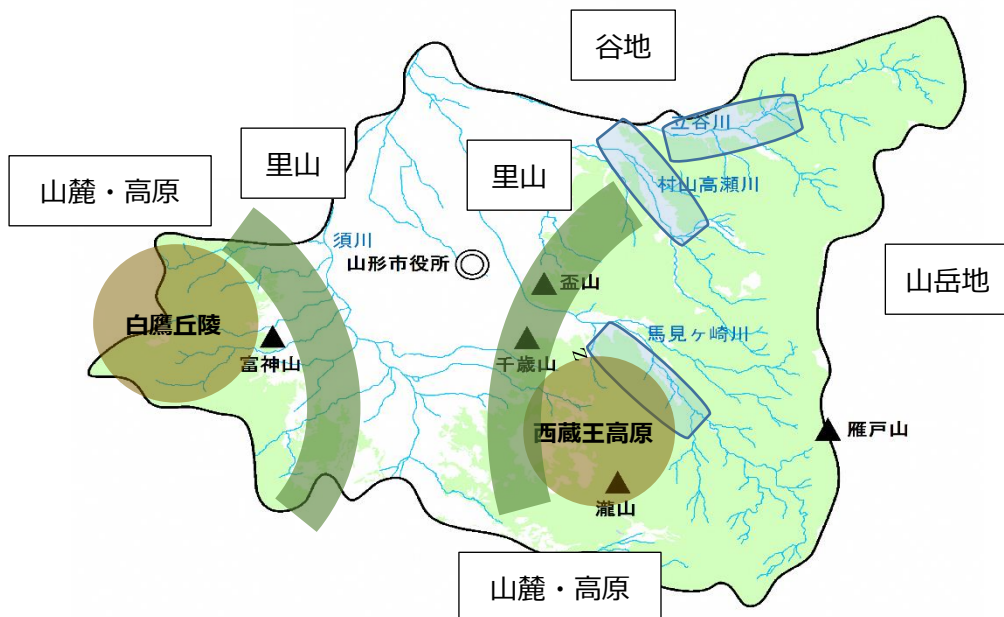
盆地の周囲には山麓や高原が広がっています。西藏王高原や白鷹丘陵は、利活用の整備が進み、多くの人々の憩いの場となっています。

●夏暑く、冬寒く、湿度の高い気候

気温の寒暖差は紅葉の鮮やかさ、冬の季節風は雪景色や樹氷をつくり出し、季節を美しく魅せるとともに、風趣に富んでいます。

●まちや人にうるおいを与える河川・堰

山形市の中心部を流れる馬見ヶ崎川は、まちのシンボルとして親しまれ、また、馬見ヶ崎川を取水源とし、市街地を網の目のように流れる山形五堰は、水田のみならず、まちや人にうるおいを与えています。集落の脇を流れる川はふるさとへの親しみのある景観をつくっています。



2) 土地利用

●扇状地上に発達した市街地

経済の中心部や市街地は、歴史ある城下町を核として発達し、概ね扇状地上にありましたが、近年、住宅地は、平地や山裾に拡大してきています。

●市街地の西側に広がる田園と工業・産業地帯の点在

市街地西側には田園が広がり、都市のざわめきを緩衝しています。一方、田園部に高速道路が整備され、工業・産業地帯も点在します。

●サクランボ、リンゴ、ラ・フランスの果樹園地帯

山麓の山裾や川沿いの扇状地には果樹園が広がっています。

●伝統様式が残る農村集落

集落は、山裾、川沿いに点在し、列状集落が形成されています。



3) まちづくり

●自然や歴史・文化と調和したまちづくり

山形市都市計画マスタープランにおいて、豊かな自然資源である田園や森林を守るとともに、歴史や文化などの地域資源を生かし、市街地や集落のそれぞれの魅力や活力を高めるまちづくりを進めています。

●郊外住宅地や幹線道路沿いの新しい景観

幹線道路沿いの敷地が大きく確保できるエリアでは、施設自体が大規模で看板も大型化し、一般的な郊外型の景観を形成しています。また、郊外に広がる土地区画整理事業により整備された地区などには、新しい住宅が広がっています。

●みどり豊かなまちづくり

山形しみどりの基本計画において、森林や田園、樹木の保全、公園や緑地の整備とともに、植樹祭や植栽など市民による緑化活動を促進しています。



山形まるごと館



霞城セントラル



霞城公園



菅沢古墳



郊外の住宅団地



西部工業団地

4) 歴史・文化

● 受け継がれる歴史

先人たちの生活や文化などを語り伝える埋蔵文化財包蔵地は、山形市内各地に分布しています。市街地においては、城下町時代に形成された道路骨格が今でもその路線を変えず、地割は当時の痕跡がとどめられています。また、文翔館や旧済生館など近代初頭に建てられた施設が今なお残され、重要なランドマークとなっています。

● 多彩な文化と創造都市の推進

映画に関する活動、歴史を背景にした神輿渡御、田植踊りの景観、山形鑄物などの伝統工芸、豊かな食文化など、地域に存在する特色ある文化資産や、音楽・芸術イベントなどの文化芸術活動をベースに創造都市を推進しています。



文翔館



諏訪神社



長谷堂城跡



御神輿渡御



西山形柏倉田植踊



旧済生館

5) ゾーンの考え方

景観を構成する要素である「地形・自然環境」、「土地利用」、「まちづくり」の視点から、景観上の等質地域により、市域を「自然」、「田園」、「市街地」の3つのゾーンに分類できます。

また、各ゾーンには、地域の景観を特徴づける要素として、特色性豊かなそれぞれの歴史や文化が培われています。

■ 景観を構成する要素

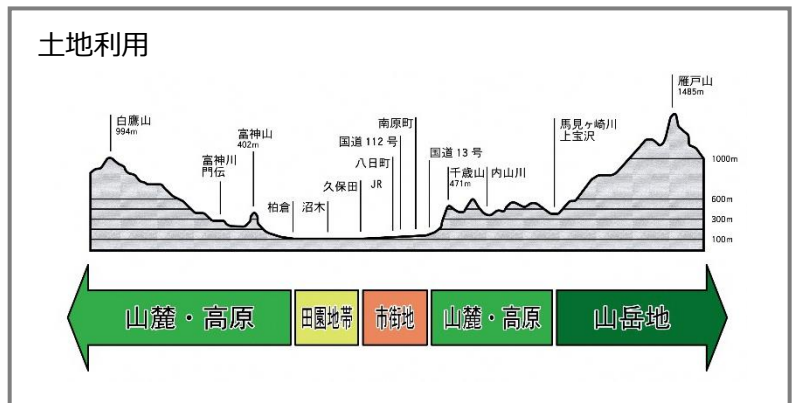
【地形・自然環境】

- 山形市の景観の特徴は、第一に地形条件によって生み出されています。
- 山形盆地の南東部にあたる盆地地、市街地を取り囲む山麓や高原、そして東部の山岳地から特徴ある景観が生まれています。



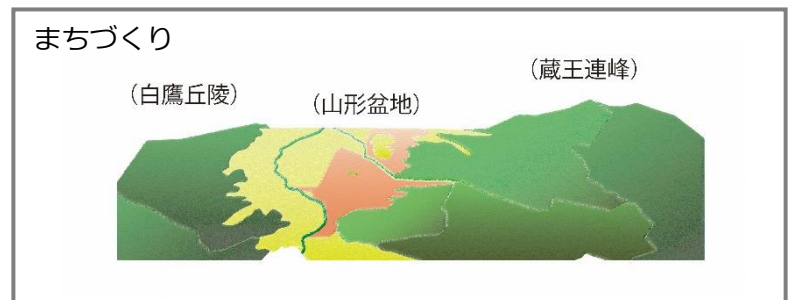
【土地利用】

- 扇状地上に発達した市街地、市街地西側に広がる田園地帯、河川沿いや山裾に広がる果樹園、盆地の周囲には山麓や高原が広がります。



【まちづくり】

- まちづくりは、都市計画マスタープランによるまちづくり、森林や田園の保全、都市部のみどりのまちづくりなど計画的に進めています。



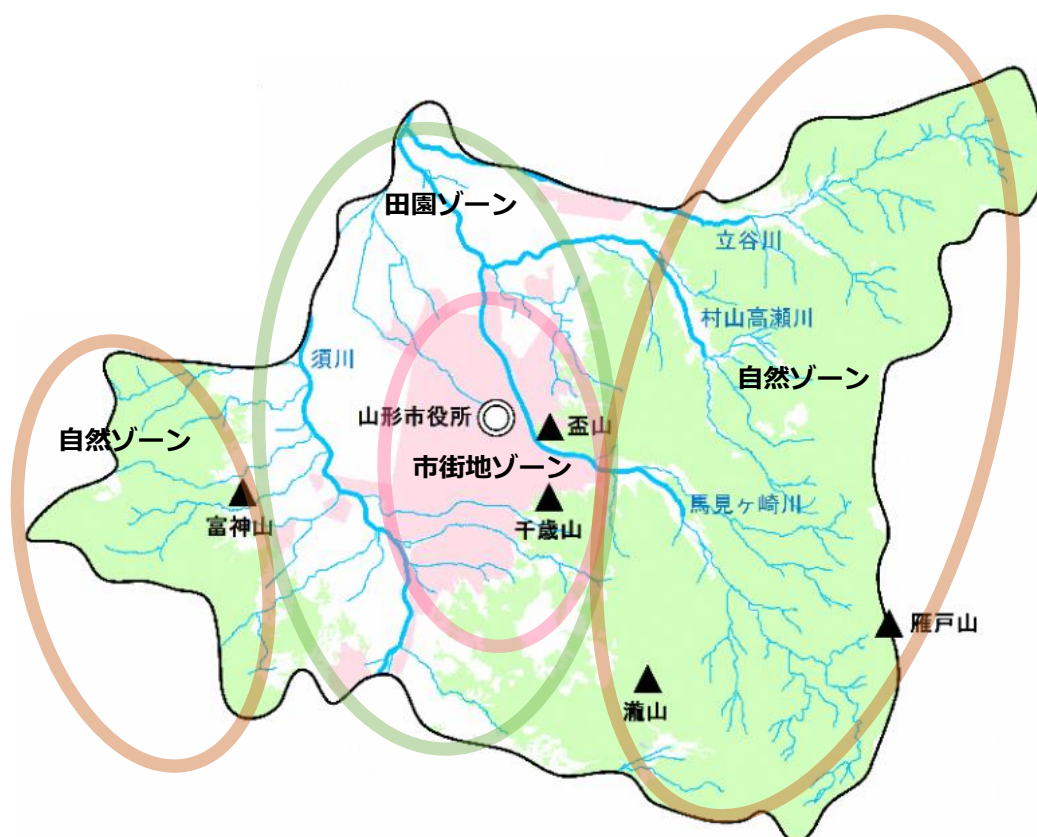
■地域の景観を特徴づける要素

【歴史・文化】

- 人々の心に刻まれた歴史のイメージは景観を意味づけます。歴史の経緯を知ることは、景観の背景を知る上で重要となります。
- 文化とは人々の生活の営みそのものです。伝承と創造により発展しながら、山形らしさを象っています。



■ゾーン設定



資料：山形市都市計画マスタープラン（平成29年3月）

2 景観類型

本章 [1 山形の景観] におけるゾーンについて、それぞれの特性や課題に着目することにより、ゾーンをさらに細分化した景観類型が見えてきます。

1) 景観類型別の特性

田園ゾーン

市街地の北部及び西部に広がる果樹・田園地帯 伝統様式や歴史が残る農村集落

- ・主に水田部が広がっておりますが、サクランボ、リンゴ、ラ・フランスなどの果樹園も点在しています。
- ・山裾や川沿いに点在する列状集落には、生垣や玉石積みなど伝統的な農村集落景観が残っています。
- ・市域南西部の丘陵から山麓にかけて、長谷堂城址や古墳など歴史的な景観資産が多く分布しています。

田園ゾーン

社寺と伝統

- ・各所の社寺には鎮守の森があり、住民による行事やお祭りが受け継がれています。
- ・多様な民俗芸能である田植え踊りや大黒舞などは、後継者が不足するなどの課題も抱えていますが、子どもたちに引き継ぐ活動が行われています。

田園ゾーン

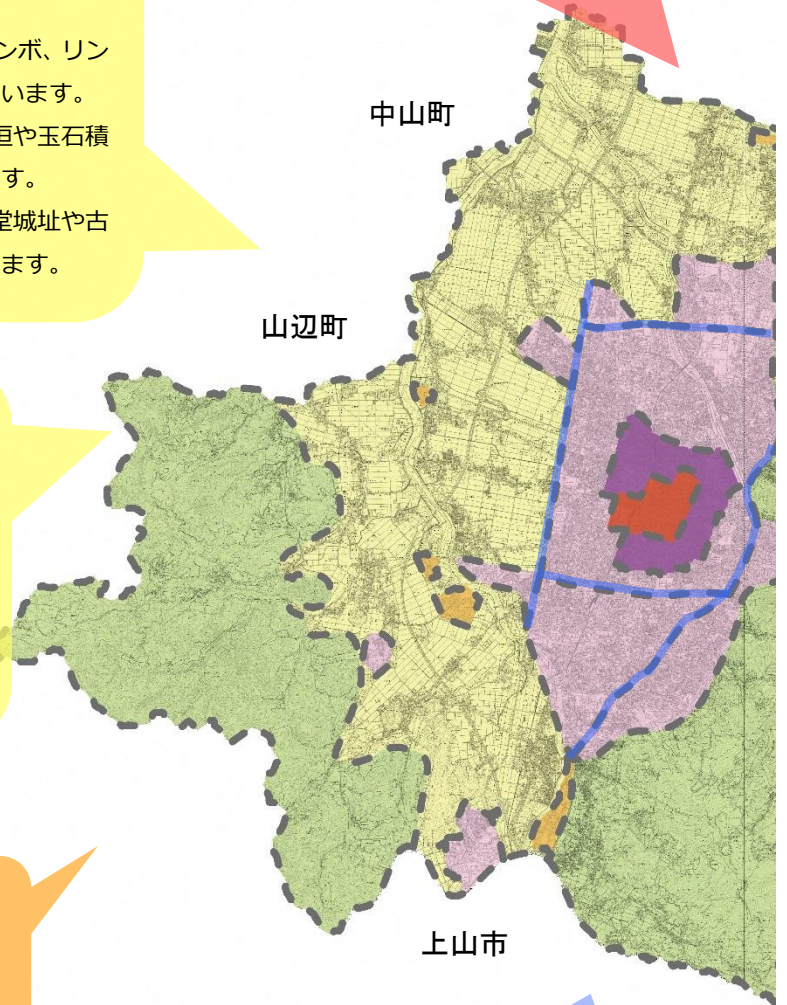
果樹・田園地に点在する工業・産業団地

- ・田園や果樹園が広がっている地域に産業団地が造成されています。

市街地ゾーン

山形駅前から七日町通り

- ・中心部は商業の中心であるとともに、山形市を代表する象徴的な伝統的建造物が保存され、市民及び来訪者に山形市を印象づける重要な場所となっています。
- ・扇状地上に位置し、堰などの水辺の景観が残されています。



市街地ゾーン

幹線道路沿いに続く商業施設群

- ・中心部を取り巻く幹線道路沿いの地域は、新しい道路沿いは大型商業施設、古くからの商業施設群には看板が林立しています。

市街地ゾーン

寺町地区や旧羽州街道沿いなど

- ・中心部の周辺は、中心部の賑わいとは一線を画し、城下町の社寺地として、社寺の緑がまちにうるおいを与え、蔵などの伝統的建造物と現代的建造物が混在する旧街道沿いでは、歴史の面影を残しています。

自然ゾーン

貴重な自然が残る山岳地

- ・多くが蔵王国定公園となる山岳地は、貴重な自然が多く残っています。
- ・類まれな「樹氷」や、鮮やかな色合いが際立つ美しい「紅葉」が見られます。
- ・蔵王は、日本屈指の古湯やスキー場を有し、山形市を代表する観光地となっています。

自然ゾーン

人々の身近にあり親しまれる山麓・高原

- ・市街地を取り囲む山麓や高原は、多くが山林に覆われ、市街地からはこの緑豊かな山々が望まれます。
- ・西蔵王高原や白鷹丘陵は、市民のレクリエーションの場として親しまれています。

自然ゾーン

自然と生活の調和した景観が美しい谷地

- ・川沿いの列状集落は、人々の生活や生業と一体となった情緒的な集落景観を形成しています。
- ・山寺は、史跡・名勝地として山形市を代表する歴史的観光地となっています。



市街地ゾーン

郊外へ広がる住宅地

- ・中心部周辺から外側に広がる住宅地は新旧の住宅が織り交ざっています。
- ・市街地の外側に近い地域に地区計画の整った住宅団地が配置されています。

2) 景観類型の課題

ゾーン別の特性等を踏まえて分類を行った9つの景観類型について、それぞれの課題を次のとおり整理します。

① 自然ゾーン

山岳自然景観

● 多くを蔵王国定公園が占める、貴重な自然が残る山岳地

- ・ 自然環境の保護・保全を図るため、人があまり立ち入らない場所と、積極的に自然とふれあう場所を区別する必要があります。
- ・ 人があまり立ち入らない場所は、貴重な自然や生態系を維持し、遠景の印象を大切する必要があります。
- ・ 蔵王の伝統的な温泉街は、建築物や駐車場、看板類など、まちなみ景観の混乱も見られます。



紅葉の蔵王

山麓自然景観

● 市街地を取り囲むように連なる山麓・高原

- ・ 人々が積極的に自然とふれあう場所は、より身近で親しまれる景観となるように努める必要があります。
- ・ 山形市が誇る貴重な自然景観は、多くの人に知ってもらうための方策が必要です。
- ・ 自然の中でも市街地に近い場所は、日常の景観として、市街地と自然の調和が必要です。



瀧山山麓

谷地自然景観

● 立谷川、村山高瀬川、馬見ヶ崎川などの、山間の帯状に開けた川沿い

- ・ 自然の中であって生活から生まれる景観は、自然の魅力を保ちつつ生活の場と調和することが必要です。
- ・ 山寺の門前町は、建築物や交通、看板類など、まちなみ景観の混乱も見られます。



村山高瀬川

② 田園ゾーン

果樹・田園景観

● 市街地の北部及び西部に広がる果樹・田園地帯とその集落

- ・文化・伝統を継承しつつ、美しい田園景観と農業の振興の共存が必要です。
- ・集落内に残る伝統的な建築形態が失われつつあります。
- ・地域内に残る歴史的な景観資源が活かされていません。
- ・サクランボ園は「山形らしい景観」となっており、果樹の里としての印象を大切にする必要があります。



田園内産業景観

● 田園地や果樹園地に点在する工業・産業団地

- ・工業・産業団地では、周辺の田園や果樹園の牧歌的な景観との調和が必要です。



③市街地ゾーン

中心市街地景観

●山形駅周辺、駅前大通りから七日町通りを経て山形市役所付近まで

- ・山形駅周辺では、人の集まる公共空間としての先進的かつ華やかな景観が欠如し、まちの賑わいが薄れつつあります。
- ・七日町周辺では、点在する歴史遺産や土地の歴史性を十分に生かされておらず、人の集積機能も低下しています。



伝統市街地景観

●城下町の面影と佇まいを残す、寺町地区や旧羽州街道沿いなど

- ・寺町地区周辺では、中心部の賑わいとは一線を画し、社寺群の歴史的趣を大切にする必要があります。
- ・旧街道沿いでは、伝統的建造物と現代的建造物が混在し、場所により趣を感じるところもあれば、混乱を感じるところもあります。



沿道商業景観

●幹線道路沿いに続く商業施設群

- ・主要幹線道沿線には、店舗の看板やサインが林立し、歩行者にとっては時にけばけばしく、時に殺伐とした印象を与えています。



市街地住宅景観

●郊外へ広がる住宅地

- ・隣接した建築物などへの配慮や緑化など、住宅地の景観の向上が必要です。

